



埼玉県マスコット  
「コバトン」

令和3年度

# 水稻の生育概況 vol.1



(令和3年6月3日現在)  
埼玉県農業技術研究センター

## 要約

- ◎気象概況：4月は平年に比べ平均気温が平年並からやや高く、降水量は少なく日照時間はやや多かった。  
5月は平年に比べ平均気温は少し高く、降水量は少なく、日照時間も少なかった。
- ◎生育状況：平年に比べ草丈はほぼ同程度、莖数は平年並からやや少なく、葉位の展開も平年並からやや遅れ気味となっている。
- ◎今後取るべき技術対策
  - ・育苗：トンネル等の温度管理に注意。苗の老化が見られる場合は追肥を実施。
  - ・水管理：浅水管理で分けつの発生を促し、有効莖が確保できたら早めに中干しを実施。
  - ・病虫害防除：いもち病（葉いもち）に留意し、その他の病虫害も考慮し薬剤防除に努める。

## 1 気象の概況

4月の平均気温は、第2、6半旬を除いて平年並からやや高く、月平均では平年より0.7℃高かった。降水量は、第4半旬のまとまった降雨を除いて、平年より少なく、月合計では平年の51%であった。日照時間は、第1半旬を除いて平年より多照であり、月合計では平年の115%であった。

5月の気温は第1半旬を除いて平年並からやや高く、月平均では平年より0.6℃高かった。降水量は第6半旬を除いて、平年より少なく月合計では平年の60%であった。日照時間は第1、2、6半旬を除いて平年より少なく、特に第4半旬の日照時間は1時間だった。月合計では平年の79%であった。

## 2 生育の概況

### (1) センター内生育相

#### ア 早期栽培（4月30日植 コシヒカリ）

育苗期間中は平年に比べて高温多照となったが、期間の後半に、平年より平均気温が低い日が続き、充実度が低い軟弱傾向の苗となった。

移植後は、強風により、葉先枯れがみられ、活着が遅れた。その後は、寡照によりやや軟弱徒長気味の生育を示した。移植後30日の草丈は平年に比べて高いが、莖数は平年の83%と少なく、葉位の進展も遅く、風乾重も軽かった。

#### イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

育苗期間の前半は高温多照により順調に生育したが、その後の寡照により、やや軟弱気味な苗となった。

移植時の強風等による植え傷みもなく、活着は良好であった。

### （2）県内全般

田植作業は早期栽培は平年並に進捗したものの、早植栽培では5月中旬以降の日照不足の影響で苗の生育が緩慢で、平年に比べ田植の進捗はやや遅い傾向となった。

田植以降の生育は早期・早植栽培とも5月中旬以降の日照不足の影響で、分げつが緩慢になり、平年よりも茎数の確保が遅い傾向となった。

## 3 今後の生育予測

### （1）気象予測

気象庁が6月3日に発表した関東甲信地方の1か月予報では、6月の天候は暖かい空気に覆われやすい時期があるため気温は高く、降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。向こう1か月の平均気温は高い確率が50%である。

また、5月25日発表の関東甲信地方の3か月予報では、7月の天候は期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は平年並または高い確率ともに40%である。

8月の天候は平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は高い確率が40%である。

### （2）生育予測

#### ア 早期、早植栽培

向こう1か月の平均気温は高い確率が50%、日照時間は多いが40%と予想され、生育が回復することが見込まれる。

#### イ 普通期栽培

小麦の収穫作業は出穂期が平年よりも早まっていたが登熟期間の気象の影響でほぼ平年並と見込まれる。

育苗期の気温は高い確率が50%と予想されているので、一部の管理不足苗は高温による苗の痛みが懸念される。

向こう1か月の日照時間は多い確率が40%、降水量は少ないが40%と見込まれ、田植以降は苗の活着は促進され、生育は概ね順調に推移すると見込まれる。

## 4 今後取るべき技術対策

### （1）早期、早植栽培

#### ア 施肥

葉色を判断しながら生育に応じて適宜追肥を行う。

## イ 病虫害防除

埼玉県病虫害防除所が5月26日に発表した令和3年度病虫害発生予報第2号（6月予報）では、5月中旬までの移植水稻ではいもち病（葉いもち）の発生予想は「多」、ヒメトビウンカの発生量の発生予測は「やや少」である。

同じく6月1日発表のいもち病（葉いもち）感染好適条件出現状況では5月1日から5月31日までの感染好適日の出現日数は13日、過去10年間の平年値は1.8日なので、本田をよく確認し早期発見・早期防除を心掛ける。

## ウ 水管理

有効茎が確保できたら小ひびが入る程度に中干しを実施する。

## エ 雑草防除

雑草が多発したほ場は、草種等に応じた除草剤（中期、後期剤）を選択し、適期散布を行う。

## （2）普通期栽培

### ア 育苗

苗代の温度管理に注意する。原則として追肥は行わないが、移植の遅れ等により肥切れが見られた場合は落水して、箱当たり0.5g（N成分）程度の硫酸等を500mlの水に溶かしてジョウロ等で施用する。葉についた肥料を清水で洗い流す。

## イ 病虫害防除

埼玉県病虫害防除所が5月26日に発表した令和3年度病虫害発生予報第2号（6月予報）では、5月下旬以降の移植水稻では、いもち病（育苗期）の発生予測は「多」、ヒメトビウンカの発生量の発生予測は「やや少」である。

これから移植を行う水稻において、いもち病の常発地では登録のある苗箱施用剤施用を心掛ける。

## ウ 雑草防除

気温が高い時期になり雑草の生育が早まるため、田植え後雑草の葉齢を見ながら適期に適剤の散布を行う。

### 「イネ縞葉枯病防除マニュアル」について

イネの重要病害であるイネ縞葉枯病の防除技術を開発するため、農技研では農研機構や他県と共同研究を行い、県内向けに「イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版）」を作成しました。また、農研機構では、共同研究全体の研究成果をまとめた「イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル」をホームページで公開しています。

◎イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版 PDF 版）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/documents/ine-shimahagare-manyuaru.pdf>

◎イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル（農研機構 Web 版）

[https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/rsv\\_web/manual/start](https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/rsv_web/manual/start)

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（熊谷気象台日別測定値から集計）

4月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	15.4	11.5	19.8	17.4	11.4	6.2	3.0	15.9	16.7	33.5	
2	11.7	12.5	18.0	18.4	6.2	7.1	0.0	17.4	44.2	33.3	
3	13.7	13.4	19.7	19.5	7.7	8.2	1.5	16.3	35.3	32.4	
4	15.1	14.4	20.7	20.4	9.7	9.3	29.5	14.2	39.7	31.2	
5	16.3	15.3	24.1	21.3	9.9	10.1	0.0	13.5	52.4	31.6	
6	15.5	16.2	21.0	22.3	9.9	10.9	12.5	13.5	39.2	33.2	
平均	14.6	13.9	20.6	19.9	9.1	8.6	合計	46.5	90.7	227.5	197.1

5月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	16.8	17.1	23.5	23.2	10.7	11.8	3.0	13.5	39.5	32.9	
2	19.9	17.8	26.3	23.6	14.4	12.7	1.0	14.4	36.7	31.0	
3	19.1	18.3	23.9	24.0	15.0	13.4	0.0	16.5	19.6	30.1	
4	19.2	19.0	22.1	24.8	16.7	14.1	15.5	19.7	1.0	31.3	
5	20.6	19.8	25.4	25.6	16.1	14.9	13.0	21.7	17.8	32.0	
6	20.6	20.5	26.7	26.1	15.6	15.8	37.0	24.9	37.6	37.6	
平均	19.4	18.8	24.7	24.6	14.8	13.9	合計	69.5	115.1	152.2	192.0

注) 半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。

平年値は1991～2020年の気象台値。

2 早期栽培（4月30日植 コシヒカリ）

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
11.9	12.7	94	2.0	2.1	-0.1	1.05	1.30	81	0.89	1.02	-0.13

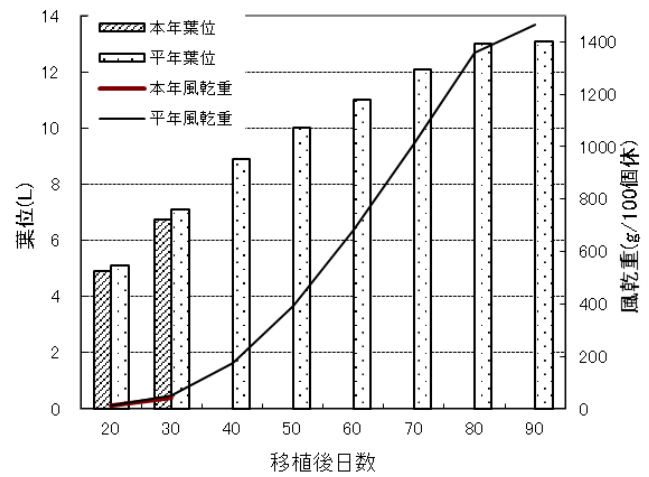
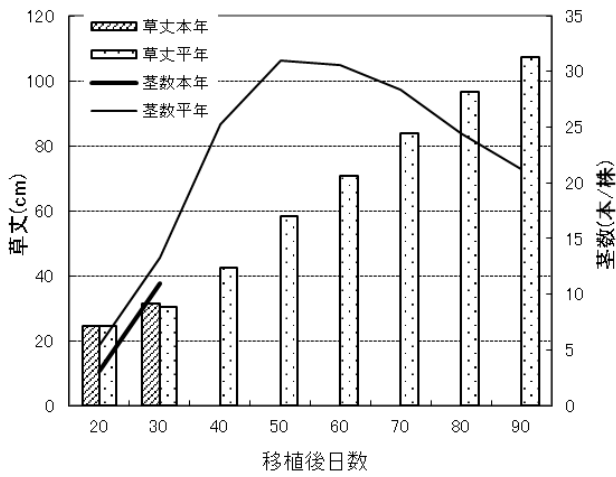
注) 平年値は平成11年～令和2年の平均(H22を除く)。 平年比は%

(2) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	24.6	24.6	100	3.1	5.3	57	4.9	5.1	-0.2	7.3	11.8	61
30	31.4	30.3	104	11.0	13.3	83	6.7	7.1	-0.4	41.6	48.7	85

注) 平年値は平成11年～令和2年の平均(H22を除く)。 平年比は%

### (3) 生育経過

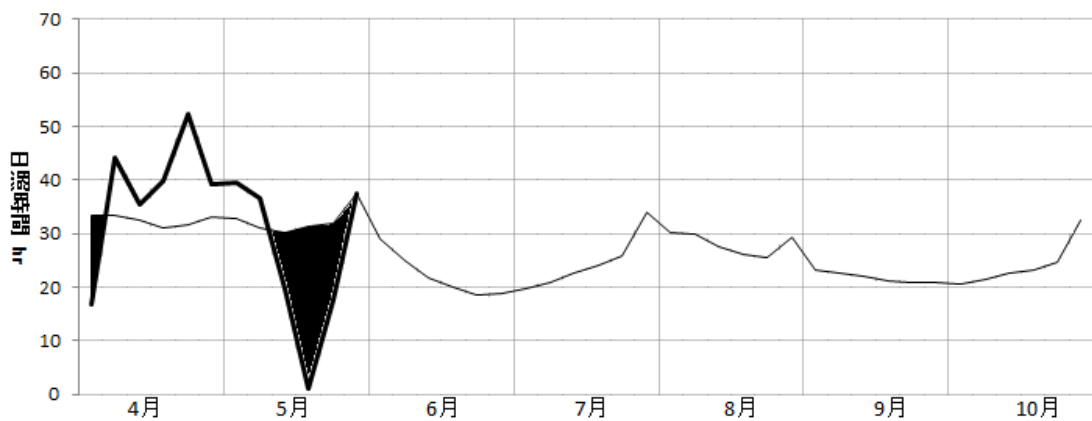
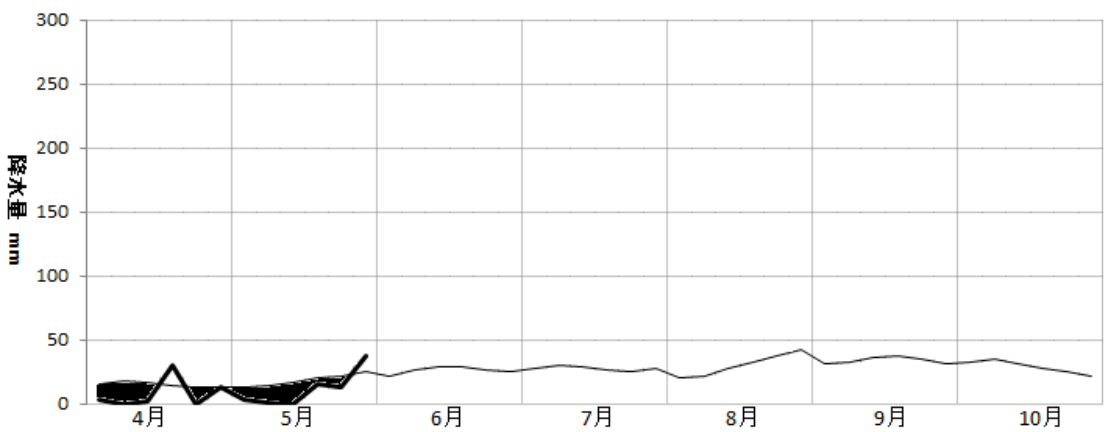
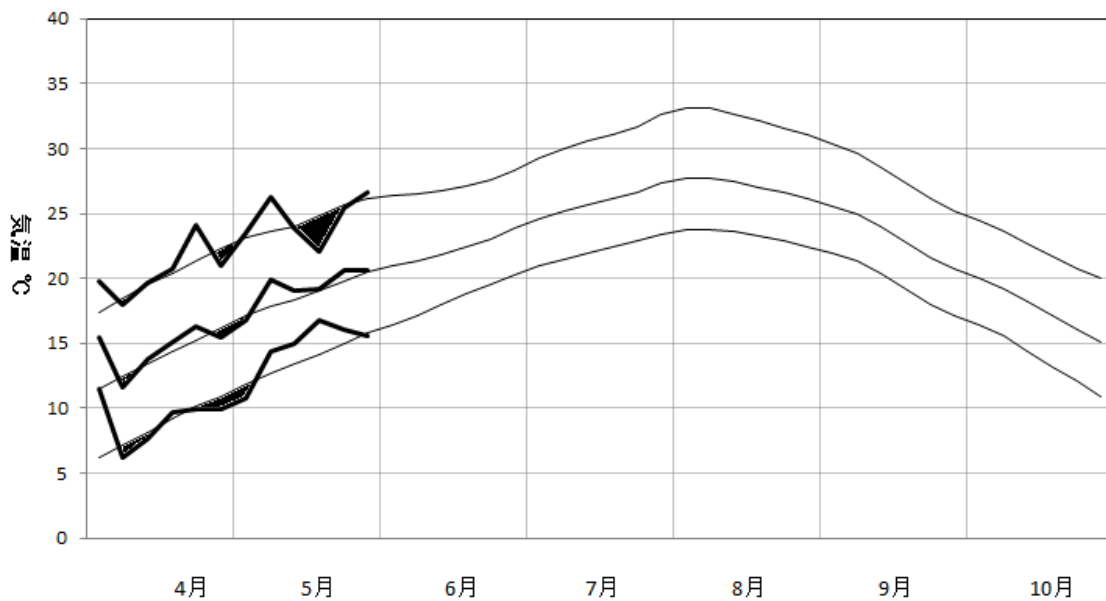


## 3 早植栽培 (5月20日植 彩のかがやき)

### (1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
12.3	12.9	96	2.4	2.1	0.3	1.23	1.40	88	1.00	1.09	-0.09

注) 平年値は平成12年～令和2年の平均。平年比は%



## 令和3年夏作期間気象図

(熊谷気象台日別測定値から作成)